

交流する楽しさ

(原文)

内田 瑞姫 (14 歳)

熊本県

熊本市立芳野中学校

私は、今住んでいるところ、学校、友だち、地域みんなが大好きです。私の学校の生徒は、一学年に約十人しかいません。でも、一年生から三年生までみんな仲良しです。私の友達も、小学校一年生から一緒に、中には保育園から一緒に、長くて十四年間一緒にいる人もいます。小さい頃から地域の方にかわいがってもらいながら成長してきました。学校に行く時も、地域の方にあいさつをすると、笑顔で返してくださります。私は、とても幸せな気持ちで学校に行くことができます。しかし、地域の方とは、あいさつをするぐらい合うことはありません。そこで私は、もっと地域の方と交流する機会を増やしたら、よりよくできると思います。

私の地域は三つの校区に分かれています。野出、岳、北部の三つです。私の地域では、二年に一度、地区運動会という三つの地区で運動会をします。地区運動会は、小さい子からお年寄りまで参加します。しかし、おとしは、熊本地震があり、開催することが出来ませんでした。二年に一度しかない運動会が出来なくなり、みんなの楽しみがなくなってしまい、とても落ち込んでしまいました。だから、二年に一度しかない地域の方との交流は少ないと思います。そして、自然災害で交流をすることが出来なくなるのは、もったいないと思います。自然災害に邪魔されず、みんなが楽しんで交流できる機会を増やしたらいいと思います。例えば、学校に地域の方を招いたりして、昔の遊び、お手玉やけん玉などで一緒に遊んだりする。各地区で、バーベキューをしたりするといいと思います。そうすることで、もっと地域の方と親しみを持つことができ、みんなの楽しみが増えると思います。私は、地域の方との交流を増やし、みんなの笑顔も増やしたいです。

地域の方との交流を増やすためには、一緒に楽しむだけでなく、地域の方から、文化やこの地区の伝統を学ぶことも増やしたらいいと思います。小学校の時は、洗濯板の使い方やみかん、梅などについて、地域の方が学校に来てくださり教えてくださりました。しかし、高学年になるにつれて、地域の方から学ぶことが少なくなり、中学生になっては、ほとんどなくなりました。高校生になったら今まで通っていた、通学路も通ることなく、地域の方とも会わなくなってしまいます。だから、地域の方からの学習を増やし、もっと自分の地区のことについて知ることが大事だと思います。そこから、学ぶことがたくさん出てくると思います。中学三年となった私は、地域の方からたくさんの「受験、頑張り。」の言葉をいただきました。応援して下さる地域の方からこそ、これからの人生に、大切になってくるこ

とを学ぶことが出来ると思います。地域の方からの学習をすることで、自分のこれからについて学べると思います。

私は、これからも、住んでいる場所、友だち、地域の方を大切にしていきたいです。どこに行っても、ここは愛しきふるさとです。今まで受けつがれてきた伝統もこれから先、途切れることがないように繋いでいきたい。地域全員の笑顔を、もっともっと増やしていきたいと思います。